

2013年3月大だ今建築(他)

※ 気軽(エ)に相談(エ)を
千草(エ) 相談(エ)を
神奈川(エ) 相談(エ)を
埼玉(エ) 相談(エ)を
茨城(エ) 相談(エ)を
有(有)つるおが工務店

休(他)

ホームパビリ

東京都江戸川区
ホームパビリ

カレージ村
地上3階建
(アメリカ)



東京都練馬区東大泉
土地は、25坪で家が、1700高18ピッチリで、
ドーナツ(丸)邸



千葉県
シラ-ニア陽浦 基礎工事中
カレージ村平屋
(アメリカ)



700の写真家 山岸伸(丸)とマシヨリ(丸)がまわって 知り合いに存在



千葉県白子町
和-100
スアシカ
Etsushi
私(丸)が作り
まわ
つる(丸)

輸入住宅・エアサイクルホーム
TEL. 0470-68-4848(代) FAX. 0470-68-5499
ホームページアドレス http://www.daiku.co.jp



千葉県東金市
丸(丸)邸
4777sq.の丸(丸)屋関(丸)の丸(丸)張



千葉県御宿台、リフォーム中



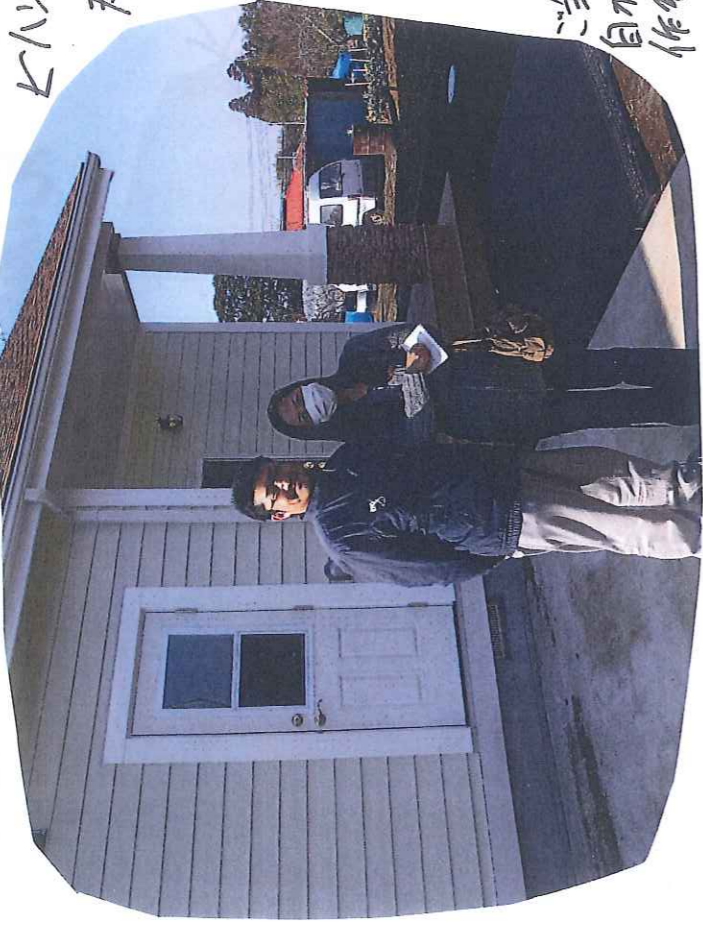
千葉県白子町



2013年
2月

千葉県睦沢町

ハタ一邸完成しました。



ハタ一邸
夫妻邸



外
自工事以外ア
作台との事です。

トイレ



床はタイル仕上

キッチンも
ハタ一邸です。



天板は
本物の大理石
(お話し)

奥様のデッド
と元々作りました。

LDK
49/101の床20MMです。

気軽に連絡ください
大工 3代目です。

輸入住宅・エアサイクルホーム
(有)つるおが工務店

〒299-5102 千葉県夷隅郡御宿町久保2039
TEL. 0470-68-4848(代) FAX. 0470-68-5499
ホームページアドレス <http://www.daiku.co.jp>

洗面台
ハタ一邸です。



食器棚。→

奥様の希望の
図面と元々
作りました。

ハタ一邸見学希望
の方は連絡ください。
写真よりも綺麗に
です。



個性豊かな本場スタイルの輸入住宅 施主が参加するから楽しい家づくり



赤焼き瓦と白い外壁が青空に映えるMさんのお住まい。右の納屋も住宅と同じ仕様で仕上げるという徹底ぶり。外階段から2階のテラスに上がると御宿の風景が見渡せる絶好のロケーション。庭や植栽などは施主が丹精こめて作りこんだもの。左手のアンティークのパーゴラは施主がロンドンの骨董市で購入したもの



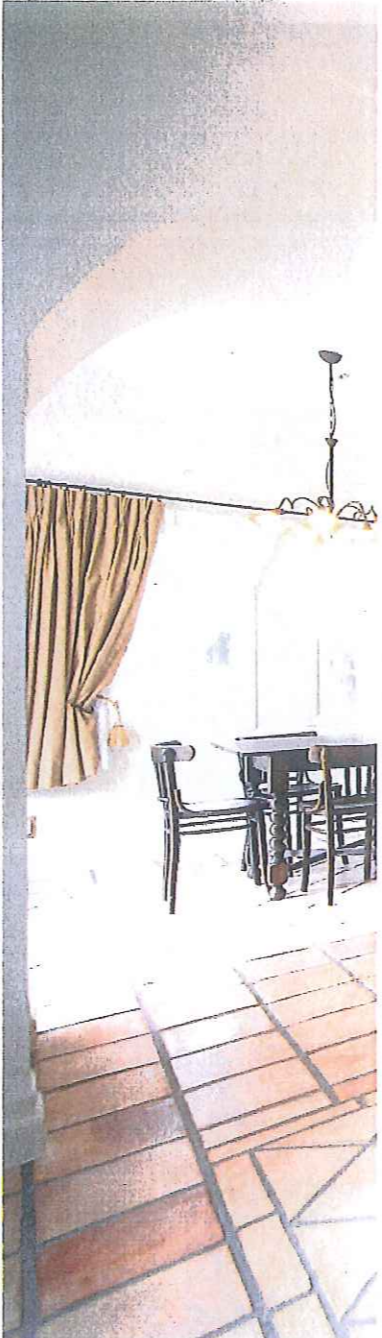
テラコッタタイルを敷き詰めた2階テラスは眺望が良く、漆喰の白い壁と深い底が心地よいアウトリビングの趣き。角形の窓やブルーのタイルを張ったベンチをL字型に配置するなど細かい造作が施されている



玄関ホールからアプローチを見る。アンティークのドアやタイルなどの趣きが何ともいえない美しさ



ダイニングルームからリビングとその奥に位置する玄関ホールを眺める。テラコッタタイルの張り方を変えて視覚的な空間の仕切りとしているのも見所。右手のサッシの向こうには緑の庭が広がる



テラコッタタイル張りの床が優美に広がる。「タイルの床は冬には寒いから床暖房をしましょう」と鶴岡社長が提案した。アールに切り取ったダイニングとの間仕切り壁のデザインもMさんのお気に入り。調度品や照明器具などのすべてにこだわりがある (この見開きで紹介している写真はすべてM氏邸)

「本当にいい家とは、人と人の信頼関係から生まれる」が信条

本場のテイストが薫る輸入住宅で知られるつるお工務店。同社で家を建てたオーナーの間では、代表である鶴岡社長は「つるちゃん」という可愛いらしいニックネームで呼ばれている。家づくりで、人と人のつながりを何よりも大切に社長の人柄を裏付けるものだ。そこには建て主と施工者という商売の関係ではなく、いい家を創るといふ共通の思いだけがある。また、同社のファンとなったオーナー同士がそれぞれの家に関心を寄せ、イベントなどで友だちになり、いつしか大きな輪ができていくのも特色だ。

同社は真似事ではなく、その国の空気を感じられる輸入住宅づくりにこだわる。それを可能にしているのが、海外の住宅に精通した鶴岡社長以下スタッフの存在である。毎年、アメリカやヨーロッパへ渡り、建材やアンティーク家具、部材、照明などを直接買い付けるなど、本場のテイストを有する家づくりへの努力を惜しまない。

なお、同社の特徴は最初からプランを提案するのではなく、まず、オーナーに間取り等を考えてもらい、家づくりで何が一番大切かを確認すること。「施主が積極的に参加し愛着をもつことで家は育っていく」という鶴岡社長の言葉が印象的だ。

このレポートの見どころ

- 「つるちゃん」(鶴岡社長)以下スタッフの人柄が魅力
- 各国の選り抜かれた部材・建具で造る本場の輸入住宅
- 家づくりの意味を施主に考えてもらう納得のプラン

つるかお工務店
19-5102
兵庫県御宿町久保2039
0470-68-4848
0470-68-4848
L/0470-68-4848



●担当からご案内
お客様に後悔のない家づくりをしていただくために、私たちは年2回の海外研修も実施して知識・技術を「くわいませます」「あーだ、こーだ」と言いながら、楽しい家づくりをしましょう。私たちは千葉県の子供が工務店ですが、お客様の小さなこだわりを実現できるように、その中で、コツコツと「再現部隊」を育てています。また、当社ではOB・OB訪問にて、施工後も来員しお付き合いをさせていただきます。

●価格目安
45万～65万円 坪
延床積積35坪の場合
●商品一覧
海外研修も実施して知識・技術を「くわいませます」「あーだ、こーだ」と言いながら、楽しい家づくりをしましょう。私たちは千葉県の子供が工務店ですが、お客様の小さなこだわりを実現できるように、その中で、コツコツと「再現部隊」を育てています。また、当社ではOB・OB訪問にて、施工後も来員しお付き合いをさせていただきます。

●全社概要
設立 1946年6月
資本金 300万円
従業員数 6名
FAX / 0470-68-5499
URL / http://www.daiiku.co.jp
E-mail / @daiiku.co.jp
商品の特長 南欧風リゾート住宅やオーダメイド対応可能工法 2×4、2×6、木造軸組、鉄骨
標準工期 約4ヶ月
商品名、ブランド
工法・構造 2×4、2×6、木造軸組、鉄骨
住宅保証機構による住宅瑕疵担保責任保険



つるかお工務店は毎年、ヨーロッパ、アメリカなどに向き、本場アメリカや欧州を買い付けてくる。その量は大型トラック一両が一杯になるほど。「本場の空気にかかるとワクワクする」と同社社長が興奮する。海外の素材やインテリアの案内などが掲載

「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」
「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」



同社ホームページは

「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」

海外の住宅に精通。外観スタイルも自在

「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」



「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」



「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」

海外の住宅に精通。外観スタイルも自在

「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」

海外の住宅に精通。外観スタイルも自在

「この海外のインテリアとそのままの家づくり」
「こんな楽しい家づくりがしたい」



スペイン製の素材にこだわった フリープランの注文住宅

つるおか工務店

千葉県/1邸



明るいオレンジ色のスペイン瓦が白壁によく映える。アプローチの床面はアルハンブラ宮殿でも使われているスペイン製のテラコッタタイル。玄関ドア、ポストをブルーにペイントして地中海風に。



明るく開放的なLDK。天井高は約4.8m。ペイント風の白い壁は、実はクロス張り。「壁の面積が大きいので、ペイントだと将来ひびが入る可能性がある。それでクロスをおすすめしました」と社長。



つくりながら決めていく 失敗のない家づくり

海と山に囲まれた房総の別荘地に、スペイン風のセカンドハウスを完成させたIさんご夫妻。現在は週末の家として利用しています。将来は永住予定。おふたりにとって、まさに終の棲家として選ばれたお宅です。

明るく開放的な南欧の家は、以前からご夫妻の憧れでした。初めは大手のハウスメーカーに相談しましたが、「本当につくりたい家をつくるのができない」と感じて、ダイレクトメールで知ったつるおか工務店に連絡。スペイン製の素材使いに定評がある社長と意気投合し、二人三脚の家づくりがスタートしました。「もどき」では

なく、本物にこだわりたいという点で、社長と意見が合いました。それに、大手のハウスメーカーは建築が進んでしまうと、あとで変更ができないんですね。その点、つるおかさんは社長の方針で、「今度キッチンに入りますけど、どういイメージでやりませうか?」と、つくりながら決めさせてくれます。現場を見ながら社長

に相談してひとつひとつ決めていったので、あそこはこうすればよかった、というところがひとつもないです」と奥様。特にお気軽に入りは、鮮やかな黄色のスペイン製タイルをふんだんに使ったキッチンです。「キッチンの中を見せたくない」という奥様の希望で高めにしつらえたカウンターと、社長のアイデアでガウ

ディの建築のようにオールをつけたい天板が個性的です。そのほか、シンクの高さや収納の数ははじめ、すべてがオーダーメイドのオリジナル。キッチンから明るく開放的な室内を見渡すたびに、「つるおか工務店にお願いしてよかった」と満足感が込み上げてくるそうです。



1 三角の屋根を2つ合わせた外観は東様のデザイン。飾り窓やステンドグラスは、採光量を増やし、室内を広く見せる効果がある。ガウディ風のテラスとフェニックスヤシがリゾート気分を盛り立てる。
2 ロフトから見下ろすLDK。スペイン瓦の重量を支える太い梁がアクセントになっている。社長のアイデアで壁を丸くくりぬぎ、玄関のステンドグラスをロフトから眺められるようにした。
3 カウンターやシンクの高さなど、すべて東様の希望どおりにつくったオーダーメイドのシステムキッチン。手前のガスコンロはフランス製、奥の食器洗機はドイツ製のものを使用。
4 ガウディ風にしつらえたLDK前のテラスでつるおかさんと愛犬のベル君。テーブルの天板やベンチの座面にはスペイン製のタイルを張っている。天気の良い日は外でお茶するのが楽しみ。



